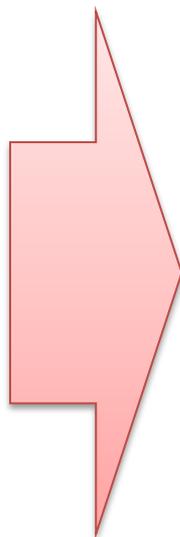


地域公共交通網形成計画に係る パブリックコメントの実施について

平成28年12月7日
嘉麻市 庁舎・交通体系対策室

今後、検討すべき事項として予定している方針（案）



5つの方針（案）

方針1. 利便性の高い交通環境の構築

- 牛隈地区（元大隈駅）にバスセンターを設置する
 - ・バス待合所（ICカードのチャージ等）
 - ・バス停留所（市バス、西鉄バスのどちらの車両も停車するバス停留所）
- 各庁舎付近に交通結節点を設置
 - ・乗継拠点として待合環境の整備
 - ・複数車両が停車可能なバスレーンの整備
- 乗継しやすいダイヤを構築
 - ・市バス同士や市バスと西鉄バスとの乗継のしやすいダイヤを構築する。
- 交通空白地の解消
 - ・桂川駅便の見直し、構築

方針2. 安全性が高く、利用しやすい交通体系の実現

- 主要な幹線となり得る路線（市外への路線）は、民間による運行とする
 - ・主要な幹線（市外への路線）は、更なる安全性、利便性の向上のため、民間による運行とする
 - ・市が運行するバスは、幹線を補完する路線とする
 - ・市外への路線の便数は現状便以上（市の補助制度導入）
 - ・官民間問わず乗継等、公共交通の利便性向上となる情報提供

方針3. わかりやすく、効率的な公共交通体系の確立

- 福祉バスを廃止。市バスに統一する
 - ・効率的・効果的な運行を可能とする運行計画の策定
 - ・乗り継ぎ割引、高齢者割引の適用（市バス車両にICカードを設置）

※高齢者、障がい者の利用の条件内容の明記

方針4. 必要な公共交通サービスの確保

- 地域の特性や需要に応じた最適なサービスとして、デマンド型運行を導入する。
 - ・一定地域におけるデマンドタクシーの導入
- ※利用者が少ない区域・集落における一部区間のデマンドタクシー等の実証運行の実施

方針5. 必要な交通手段の確保及び利用促進

- 通勤、通学手段の確保（通勤、通学サポート）
 - ・現状の西鉄バス通学定期券の一部補助
 - ・新規路線を構築し、通学定期券の一部補助
 - ・近隣の高等学校への通学手段の確保
 - ・福岡市内への直行便等を含む通勤、通学手段の確保
- 地元商店等での買い物と合わせた利用促進
 - ・地元商店等での買い物した際の回数券等の交付による利用促進
- 一目で分かり、明るい市バスとして、バスにラッピングや車内広告等を行う
 - ・車内広告等による明るい雰囲気づくりと収入の確保
 - ・ラッピングバス等による、わかりやすく、明るい市バスとする
- 観光地（道の駅等）や観光名所への交通手段の確保
 - ・最寄り駅から観光地（道の駅等）や観光名所への交通手段の確保

嘉麻市の公共交通の抱える問題点や課題、基本的な方針及び計画の目標

● 地域公共交通会議における意見に基づく修正の概要

広域的な移動における拠点となる駅等、公共交通の要所が市の中心部でないことを問題点や課題に追加

嘉麻市の一体性を進めるための市バス路線の検討やコンパクトシティ等の要素を取り入れたまちづくりの視点を追加

運転免許自主返納に関する公共交通での対応について盛り込む

基本的な方針や実施事業、目標が混在しており、分りやすく区分し、考え方が明確になるよう整理

嘉麻市の公共交通の抱える問題点や課題、基本的な方針及び計画の目標

嘉麻市の活性化に繋げる交通の視点の問題点・課題

定住対策

- 福岡、北九州都市圏へ移動するための近隣市町の主要駅への移動手段が不足
- 通学への対応が十分でなく、保護者負担の増大や生徒の進路選択への制限、高校進学を機に市外へ転出する等の問題
- 市中心部に拠点駅がない（市内には唯一の駅である「下鴨生駅」があるが、市の北北東の飯塚市境に位置している）

活性化政策

- 新市庁舎の整備とともに、市の一体化を促進する公共交通の構築が課題
- 人口減少と少子高齢化に伴う買い物客等の減少による地元商店等の衰退
- 主要な駅から観光地までの公共交通機関がなく、観光地まで行くことができない
- 国道 322 号八丁峠道路の整備による観光交通の確保が課題

嘉麻市の公共交通の抱える問題・課題

複雑な交通体系

- 合併以前の交通体系をそのまま維持
- 市が運行する公共交通機関に有償運行路線と無償運行路線があり、公平性に問題
- 有償運行路線に一般旅客自動車運送事業（4 条路線）と自家用有償旅客運送（7 9 条路線）が混在し、事業が複雑

市民ニーズとの不整合

- 稲築地区から桂川方面（嘉穂総合高校への通学等）等、市域をまたぐバス路線が少なく、市民ニーズや市外からの来訪者が利用しやすい路線となっていない
- 合併以前のバス運行路線網で運行しており、現在の市民の移動ニーズに合っていない
- 市バス相互や西鉄バスとのダイヤ接続が悪く、乗継ぎが不便
- 利用の低迷する路線が存在し、過度な運行となっていることが懸念される

運行ルート

- 狭い道や急勾配の道を通行する路線もあるため、事故のリスク等、安全性に問題
- 長距離・長時間運行路線が存在
- 商業施設等の生活利便施設への乗り入れが十分でない

利用環境

- バス停の待合環境が悪い（バス停に表示板や屋根がない）
- 位置が分かりにくいバス停があり、利用しづらい
- 時刻表や運行経路などバスの運行状況の情報提供が不十分

効率性

- 福祉バスと市バスの路線が重複しているため、効率性が悪い
- 将来的な財源を見越した運行経費の効率化が必要

嘉麻市の公共交通網の維持・形成に向けた基本的な方針

一体性

文化・福祉・体育施設等の市全体での有効活用など、4 市町合併の実効性を高めるための公共交通体系の構築

安全性

分かりやすい情報提供、乗降しやすいバス車両、安全な運行の確保による、安心・安全な公共交通の確保

利便性

マイカーがなくても日常生活を送ることのできる公共交通サービスの確保

持続性

事業の継続的な改善による公共交通体系の維持・確保と、市の持続的発展への貢献

計画の目標

目標 1

嘉麻市の活性化政策を推進する安心・安全な公共交通の構築

- ① 定住促進に貢献する公共交通
- ② 地域の安心・安全に向けた公共交通利用への転換推進
- ③ 庁舎整備と連携した公共交通網の再整備
- ④ 市内外をつなぐ広域観光周遊路線の検討

目標 2

分かりやすく利用しやすい公共交通の実現

- ⑤ 誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通体系の整備
- ⑥ 車両やバス停のユニバーサルデザインの推進
- ⑦ 分かりやすい情報提供

目標 3

利便性の高い交通環境の構築

- ⑧ 誰もが利用できる公共交通への改善
- ⑨ 市内外を結ぶ公共交通路線の確保
- ⑩ 交通結節点の設置と乗継利便性の改善

目標 4

持続性のある交通体系への転換

- ⑪ 既存路線の見直しによる運行効率化
- ⑫ 運賃収入以外の収入の確保
- ⑬ 公共交通利用者の維持・拡大

嘉麻市の公共交通の抱える問題点や課題、基本的な方針及び計画の目標

目標1 嘉麻市の活性化政策を推進する安心・安全な公共交通の構築

嘉麻市では、定住促進や観光活性化、新庁舎の整備、地域の安心・安全確保のための教育・福祉政策等を推進しており、地域公共交通政策と各政策との連携により、嘉麻市の活性化に繋がる相乗効果が期待される。

そのため、これらの政策と連携した公共交通網の再整備や、新たな公共交通路線の検討、公共交通への転換・利用促進に向けた事業を計画する。

① 定住促進に貢献する公共交通

- 1) 嘉麻市と周辺市町に設置されている学校への通学手段の確保
- 2) 広域通勤・通学需要に対する移動手段の検討
- 3) 通学者に対する負担軽減策の検討

② 地域の安心・安全に向けた公共交通利用への転換推進

- 1) 運転免許自主返納者に対する公共交通利用促進策の検討

③ 庁舎整備と連携した公共交通網の再整備

- 1) 庁舎整備に伴う4つの地域の活性化・連携につながる交通網の整備
- 2) 各支所を交通結節点とする地域内交通網の再編

④ 市内外をつなぐ広域観光周遊路線の検討

- 1) 嘉麻市内外の観光周遊を可能とする路線の検討

目標2 分かりやすく利用しやすい公共交通の実現

公共交通の利便性を高め、公共交通利用の増進を図るためには、公共交通運行体系の改善と連携した利用環境の改善も必要である。

そのため、車両やバス停を分かりやすく、利用しやすく改善するとともに、西鉄バスやJRも含めた公共交通全般について、マップやホームページ等の作成等、情報提供の充実を図る。

⑤ 誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通体系の整備

- 1) 利用ニーズや目的に的確に応じることができる公共交通体系の整備
- 2) 市バスのカラーリングの統一・分かりやすいバスの行き先表示等運行車両の改善

⑥ 車両やバス停のユニバーサルデザインの推進

- 1) 車両更新時におけるみんなにやさしいバス等の導入の推進
- 2) 老朽化したバス停等の待合環境の整備

⑦ 分かりやすい情報提供

- 1) 官民の区分なく、わかりやすい情報提供（公共交通マップの配布等）

嘉麻市の公共交通の抱える問題点や課題、基本的な方針及び計画の目標

目標3 利便性の高い交通環境の構築

現在、合併以前の公共交通体系を維持しているが、それぞれの地域で運行形態やサービス水準が異なり一部地区では路線は通っていても利用できない人がいるほか、交通空白地も点在している。また、市民の移動ニーズと公共道路線の不整合があり、公共道路線の見直しや乗継利便性の改善が必要となっている。

そのため、市内の公共交通運行体系について全般的な見直しを行うのに加え、市内外を結ぶ公共道路線の確保や交通結節点の設置・乗継利便性の改善に向けた事業を計画する。

⑧ 誰もが利用できる公共交通への改善

- 1) すべての市民が制限なく利用できる公共交通体系の整理（福祉バスの市バス統合等）
- 2) 交通空白地に対する移動手手段の確保

⑨ 市内外を結ぶ公共道路線の確保

- 1) 稲築から桂川駅方面への公共道路線の設定
- 2) 近隣市町との接続路線の維持・確保

⑩ 交通結節点の設置と乗継利便性の改善

- 1) 牛隈地区にバスの乗継拠点を設置
- 2) 生活利便施設（病院やスーパー等）への乗り入れの推進
- 3) 市バスと西鉄バスや JR との乗継ぎを考慮した運行ダイヤへの改善
- 4) 乗継割引や高齢者割引の導入（IC カード装置の設置）の検討

目標4 持続性のある交通体系への転換

嘉麻市の移動サービスに関する財政負担状況を改善するためには、非効率な運行が存在する現在の運行体系の見直しを行うとともに、収入の増加策についても検討・実施が求められる。

現在の公共交通について役割を明確にした上で、重複する路線や安定的な運行の支障となる路線の見直し、財政状況・利用状況を考慮した運行体系の選択等を行う。また、公共交通利用促進による運賃収入の増加だけでなく、広告収入等の運賃収入以外の収入確保策についても検討・実施する。

⑪ 既存路線の見直しによる運行効率化

- 1) 幹線・枝線の役割分担と重複する路線の見直し
- 2) デマンド型運行等を含めた最適なサービスの提供を検討
- 3) 公共交通に対する財政負担を考慮した運営方針の検討
- 4) 安全・安定的な運行の支障となる路線の見直し（狭隘な道路等の回避等）

⑫ 運賃収入以外の収入の確保

- 1) 市バスラッピングや車内広告等による収入の確保

⑬ 公共交通利用者の維持・拡大

- 1) 地元商店等と公共交通の連携による商業の活性化及び市バス利用者の増進
- 2) 公共交通をみんなで維持する意識の醸成
- 3) 高齢者・運転免許自主返納者等に対する公共交通利用促進策の検討

【意見を提出できる人】

市内在住者、市内在勤・在学者、市内で事業又は活動を行う団体等、地域公共交通網形成計画に直接的に利害関係を有する人

【募集期間】

・平成28年12月下旬～平成29年1月下旬を予定

【公表する資料】

- ・嘉麻市の公共交通の抱える問題点や課題、基本的な方針及び計画の目標について
(3ページから5ページの掲載資料)
- ・別添資料 公共交通に関するアンケート調査等結果の概要

【閲覧時間】

- ・8時30分～17時
※ただし、土・日曜、祝日を除く。

【閲覧場所】

- ・庁舎・交通体系対策室及び各庁舎情報コーナー及び嘉麻市ホームページ

新たな公共交通の整備について出前講座を実施しています！

～ あなたの疑問にお答えします ～

嘉麻市内を運行する地域公共交通については、今後、「一体性・安全性・利便性・持続性」をキーワードに大きな転換を図ろうとしています。

その方向性について、基本的な考え方を整理するため、嘉麻市地域公共交通網形成計画(以下「形成計画」といいます。)の策定を進めています。

この形成計画に定める内容について、市民のみなさまのご意見・ご要望をお聴きするため、12月下旬から1月下旬にかけて、パブリックコメントを実施する予定としております。

地域公共交通は専門的な内容が多く、分かりにくい事項があるかと思われます。

つきましては、記載内容に対する疑問や考え方、地域交通体系とは一体何なのか等、当該計画に関する内容の説明をご要望される場合は、下記のとおりお知らせください。

市の職員が出前講座として、会議室、職場等に出向き、説明をさせていただきます。

1 出前講座の申込み

出前講座をご希望の場合は、ご希望の時間と場所をお知らせください。

(＊地域、団体、学校、職場等において5人以上の集まりを対象とします。)

2 講座内容の例

- 公共交通の現状、問題点、課題
- 公共交通に関する今後の方向性 等

3 その他

- 出前講座ですので、会場準備等は申込者でお願いします。(配布資料等は市が準備します。)



※ この実施案内については、12月中旬の行政区回覧及び嘉麻市ホームページにて周知を行う予定です。

《お問合せ先(申込先)》
福岡県嘉麻市上臼井446番地1
嘉麻市役所 庁舎・交通体系対策室
電話：0948-62-5677
ホームページ
<http://www.city.kama.lg.jp/>

地域公共交通に関する各種調査の状況

平成28年11月30日現在

実施時期	調査手法	調査概要	備考
平成25年9月～10月	アンケート調査	<p>●住民アンケート調査 18歳以上の市民から無作為抽出 配布数 6,000票 回収数 2,404票 回収率 40.1% 回答者性別割合 男性38.1%、女性61.9%</p>	
		<p>●高校生アンケート調査 調査対象校 稲築志耕館高校、大隈城山校、嘉穂高校、嘉穂総合高校、 嘉穂東高校、近畿大学附属高校、飯塚高校 配布数 2,064票 回収数 1,658票 回収率 80.3% 回答者性別割合 男性50.7%、女性49.3%</p>	
		<p>●バス利用者アンケート調査 バス車内にアンケート用紙を設置し、実際に利用されている市民の意見・要望等を調査。調査票の回収ボックスも車内に設置 調査対象者 市バス、福祉バス利用者(高校生も含む) 回収数 225票</p>	
平成25年10月	各種団体聞き取り調査	<p>行政区長会、民生委員・児童委員会、老人クラブの会合に出向き、各地域における公共交通に関する意見・要望等をヒアリング形式で聞き取り調査を実施 回収数 145票</p>	
平成27年7月～8月	まち・ひと・しごと創生に関する市民意向調査(企画財政課実施調査)	<p>人口の将来を展望するにあたって重要となる市民意識調査 18歳以上の市民から無作為抽出 配布数 3,000票 回収数 1,141票 回収率 38.0%</p>	
平成28年4月～5月	市バス乗込み調査	<p>実際に運行する車両に乗込み、運行する路線やダイヤの確認、バス停の設置状況や運転技術、サービス等について実態を調査。合わせて、実際に乗車している利用者及び乗務員へのヒアリング調査を実施</p>	